

AI技術等を活用した業務効率化調査・検討事業業務委託事業者 提案書評価表

番号	評価対象内容	項目	提案を求める内容	判断基準	配点
1	業務理解	事業内容への理解度	・提案内容の特徴 ・背景と目的に合った全体像と今回対象とする業務	①提案する内容の特徴、アピールポイントについて記載すること。 ②本事業が目指す全体像と、今回対象とする業務について明記すること。	25
2	業務遂行能力	実施体制	・実施体制 ・担当者の人数及び経験	①業務の実施体制について記載すること。 ②責任者及び担当者の本業務に関わる経験年数や業務実績等を記載すること。(AI等技術に関する業務経験、行政BPR業務に携わる業務経験等) ③会社概要としてISMS認証、プライバシーマークの取得状況を記載すること。	50
3		実績	・過去5年間の類似契約実績	①行政事務の改善を行った類似契約実績について記載すること。 ※記載する実績は国、都道府県、政令指定都市の順で記載すること。 ②履行中の案件も評価する。(履行完了した案件の記載が望ましい。)	50
4		業務計画	・スケジュール ・作業分担	①本業務全体のスケジュールについて記載すること。 ②県、受託者等の作業分担について明記すること。(県の負担が少ないことが望ましい。)	25
5	企画提案内容	調査・検討	・調査スキーム	業務改善検討対象3業務(補助金給付事務、予算編成事務、議会対応・答弁案作成事務)において、調査方法、回数及び内容を、提案し、BPRを実施するに当たって必要な調査項目を示すこと。	50
6			・補助金給付事務のBPR	①BPRの視点を踏まえた課題を洗い出すこと。 ②形式的審査の自動化可能性について記載すること。 ③補助金申請者サポート業務の高度化可能性について記載すること。 ④業務フローの重点調査検討業務以外も含め提案があれば記載すること。	75
7			・予算編成事務のBPR	①BPRの視点を踏まえた課題を洗い出すこと。 ②予算要求資料作成の部分的な効率化の可能性について記載すること。 ③県内部の関係部署との連携手段の効率化の可能性について記載すること。 ④業務フローの重点調査検討業務以外も含め提案があれば記載すること。	75
8			・議会対応・答弁案作成事務事務のBPR	①BPRの視点を踏まえた課題を洗い出すこと。 ②答弁案の下書き作業効率化の可能性について記載すること。 ③想定される技術提案を記載すること。 ④業務フローの重点調査検討業務以外も含め提案があれば記載すること。	50
9	理解促進	効果分析と導入にあたっての課題抽出	・効果分析と導入にあたっての課題抽出	運用面、コスト面、システム面等を踏まえた適切な算出方法及び導入に向けた課題を示すこと。	50
10		理解促進	・提案ソリューション導入における職員の理解促進	①ソリューション導入後の業務担当職員の理解を得るための工夫を提案すること。 ②提案するソリューションを用いた実証を見据え、ソリューションを利用する上で必要な環境整備や新たに発生する職員負担等を考慮すること。	50
11	見積価格	事業経費	・積算見積書	①仕様書に基づき、必要な経費が適切に積算されていること。 ②委託上限額の範囲内で積算すること。	50
合計点					550